

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	文章理解の基礎	渡邊 淳子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	主題 言葉の味わい、ニュアンス
授業の概要	言葉一つ一つの意味合いを深く吟味し、文章の内容を的確に読み取ると同時に、年齢に相応しい、掘り下げた読みが出来る能力を培う学習をします。
期待される学習成果（目標）	1.文章をとおして筆者が主張する主旨を的確に読み取ることが出来るようになります。 2.文章に表現された言葉のニュアンスや文脈に内側から入れられた表現の裏（ひだ）を深く読み込む能力を磨くことが出来ます。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	導入	この授業の目的や進め方、受講上の注意を説明します。	第9講	文章内容の的確な把握その1	本文とその要約文の内容が合致しているかどうか、細かに検討する練習をします。
第2講	句読点と文意	句読点の打ち方次第でどの位文意が変わるか学習します。	第10講	文章内容の的確な把握その2	第10講の続き
第3講	言葉と表現	言葉の使い方次第でどの位多様な表現が可能か学習します。	第11講	キーワードを読む	文章中のキーワードの具体的な内容を読む練習をします。
第4講	言葉と表現	幾つかの同意語を用いてそれに相応しい情景を各自文章化してみます。	第12講	キーセンテンスを読む	キーセンテンスを把握し、その具体的な内容を読む練習をします。
第5講	小説の表現を読み味わう	小説を教材に、論説文とは異なる凝縮された言葉の世界を読み味わう練習をします。	第13講	筆者の主張の吟味 その1	筆者の主張の妥当性を検討し、文章を客観的に、批評的に読む練習をします
第6講	文章構成	文章の基礎的構成を学び、段落整序の練習をします。	第14講	筆者の主張の吟味 その2	第13講の続き
第7講	主旨の把握その1	短いコラムを用いて主旨を的確に読み取る練習をします。	第15講	まとめ	文章を読む時の重要なポイントを確認します。
第8講	主旨の把握その2	やや長い論説文を用いて、主旨を的確に読み取る練習をします。	定期試験		ペーパーテストを行います。
評価方法		試験 70%、提出物 10%、授業貢献度 20%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
特に使用せず、都度資料を配布します。			谷沢栄一著『人間通になる読書術』（PHP 新書） 池内紀著『読書見本帖』（丸善ライブラリー）		